

低悪性度リンパ腫診療における COVID-19 流行の影響

1. 研究の対象

2017年1月時点で当院通院中、および2017年1月から2022年12月までに新規診断した低悪性度リンパ腫（濾胞性リンパ腫、辺縁帯リンパ腫）の患者さま

2. 研究目的・方法

COVID-19 流行下では、強力な免疫化学療法を施行すると易感染状態となり COVID-19 感染の重症化が危惧されます。このため低悪性度リンパ腫の治療方針として、治療開始の延期や、より免疫抑制の少ない化学療法を検討することが推奨されてきました。一方、治療法の減弱化によるリンパ腫の治療反応性や COVID-19 重症化予防効果についての情報は乏しい状態です。本研究は、当院で治療された方の診療録情報を用いて COVID-19 流行前後のリンパ腫治療法選択、治療効果、COVID-19 感染症などについて解析を行う後方視的研究です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、化学療法、治療効果、COVID-19 罹患など

4. 外部への試料・情報の提供

外部へのデータの提供は行いません。

5. 研究組織

りんくう総合医療センター 血液内科
安見 正人 上條 公守 釜江 剛 烏野 隆博

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

りんくう総合医療センター 血液内科 安見 正人（研究責任者）
住所：大阪府泉佐野市りんくう往来北 2-23

電話番号 : 072-469-3111